

2. 広域的な課題の調査研究に関すること

イ 福祉及び保健医療の推進に関すること

主管：健康福祉課

経緯

福祉、保健、医療等民生関係は制度的な改正が頻繁に行われている。住民にはその流れを捉えた、適正な行政施策を構築していくことが求められている。木曾地域では、過疎化と少子高齢化が見込まれる中で、全ての住民が基本的人権を尊重され、安心して生活を営むことができるように、福祉・保健・医療の連携による支援が求められている。

木曾広域連合では、福祉・保健・医療の方向性ときめ細かな連携等を行政へ提言することを目的に、「木曾広域連合福祉・保健医療懇談会」を設置し、懇談会活動を通じて様々な広域的課題の調査研究を行っている。

現状と課題

課題 木曾広域連合福祉・保健医療懇談会の提言から、以下のような課題が浮かび、今後どのような形で行政施策へ反映していくのかを検討する必要がある。

(1) 児童・家庭福祉

貧困化の進行、問題を抱えている児童等の課題に対する支援や対応、各関係機関の連携体制の構築が求められている。

(2) 障がい児・者福祉

木曾圏域自立支援協議会、就労継続支援事業所等の連携を図りながら、地域課題及び必要なサポート・支援体制の構築について検討が求められている。

(3) 高齢者福祉

少子高齢化、人口減少が問題となる中、木曾圏域では、木曾広域連合が介護保険者となり、介護における具体的施策を行っているが、高齢者福祉の動向を分析し、木曾の高齢者が、生きがいをもって元気に安心して生活していくための施策の検討が求められている。

また、生活に支障をきたすなど認知機能の低下した方に対する支援や支援体制の情報発信を行っていくことが求められている。

(4) ボランティアの活用

福祉の地域づくりの要として、木曾郡全体での高齢者を含めたボランティアの支え合い活動のシステムづくりやネットワーク化について検討し、育成していく必要がある。

(5) 保健

保健福祉施策の充実を図り、生活習慣病の予防等をこれまで以上に推進していく必要がある。

(6) 医療

木曾圏域では住民の高齢化に伴い地域医療のニーズが高まっている。しかし、全国的な医師不足、看護師不足等の影響により、対応に苦慮している。

一方、広域的な災害を想定した医療のマニュアル整備も進められ、医師会、

木曾病院を始めたとした医療機関の連携による体制が構築されつつあり、地域医療の現状を把握した上で、将来を見据えた対応が求められている。

(7) 福祉・保健・医療の総合的な検討

大規模災害発生時への対応、社会的弱者に配慮されたまちづくりへの対応、広域的な医療への対応等について、福祉・保健・医療の総合的な検討が求められている。

また、介護、国保、障がい等の大幅な改正に対する広域的な対応について検討していく必要がある。

今後の方針

木曾地域の福祉・保健・医療の課題を明らかにし、行政施策のあり方を見据えるため、木曾広域連合福祉・保健医療懇談会の活動を軸とし、調査研究を進めていく。

施策

1 福祉及び保健医療の推進に係る調査研究

(1) 児童・家庭福祉

子どもの健全育成や貧困化に対する児童・家庭相談機能や支援体制の充実策等

(2) 障がい児・者福祉

就労継続支援事業所等の広域的検討と就労場所の確保等自立支援策等

(3) 高齢者福祉

① 地域に根差した、高齢者の支え合い活動や活動を通じた相互協力による高齢者の生きがい対策等

② 認知機能の低下した方への対策等

(4) ボランティアの活用

ボランティアの育成及び活用の充実策等

(5) 保健

生活習慣病予防等を柱とした地域としての健康づくり推進策等

(6) 医療

① 木曾病院を中心とした総合的な地域医療対策等

② 看護師確保対策としての信州木曾看護専門学校支援策等

(7) 福祉・保健・医療全般

① 大規模災害発生時の関係機関の連携対応策等

② 地域の人口減少を踏まえた上での福祉のまちづくり対応策等

③ 医師と訪問看護師、介護支援専門員等との連携策等

④ 国保等制度改正に伴う広域化等の調査研究